

テーマ：女性の健康&家族の健康

晩婚化・晩産化・少子化問題で、TVや雑誌でもにわかに注目を集め始めた「卵子の老化」。経済状況の悪化も、産みたいのに産めない女性を増やしているとも言われています。長野県内の医師不足は慢性化し、特に産院の不足から、安心して出産ができる環境とはほど遠いようです。私たちは『産み育む』ことについて、次の世代にどんなメッセージが伝えられるのでしょうか？

また、今や男性同様に65歳まで働き続ける女性にとって、子育てが一段落した時には親世代の介護問題、そして自身の更年期の不調が押し寄せます。子どもを産む人も産まない人も、等しく訪れる閉経。女性としての2ndステージを、いきいきと元気に過ごすためにはどうしたらよいのか？ちょっと敷居の高い婦人科を気軽に訪れ、かかりつけ医との連携で健康を見守るコツを、産婦人科の先生から直々に伝授いただきます。

そして、家族全員が健康に暮らし、介護生活も上手にこなすための秘訣も、内科医や薬剤師の先生方から教えていただきます。日頃話題にしにくい女性の健康問題、避けては通れない老化の問題について、しっかり向き合う機会にしましょう。

講演会終了後茶話を予定しておりますので、お時間のゆるす方は、ぜひご参加下さい。

◇日時： 2013年10月27日(日) 午後1時半～3時半

◇場所： 上田高等学校同窓会館2階・多目的ホール

◇プログラム

① 開会のあいさつ 日置 勇二理事長

② 記念講演「アタランタ（女神）の末裔たちへ

～現代女性の月経異常（女性アスリートを例に）～

産婦人科医師 四季レディースクリニック院長 江夏亜希子先生

<講師紹介>

宮崎県都城市生まれ。鳥取大学卒業後、同大医学部附属病院、公立八鹿病院、国立米子病院等勤務を経て、2004年上京。ウィミンズウェルネス銀座クリニック他女性外来で勤務する傍ら、東京大学大学院身体教育学研究科にてスポーツ・健康医学を学ぶ。2010年、日本橋人形町に四季レディースクリニックを開院。2007年より東御市集団子宮がん検診を担当し、昨年からは月2回東御市民病院で市民対象の診療も行っている。昨年、毎日新聞夕刊に『アタランタ（女神）の末裔たちへ』のコラムを連載。



③ パネルディスカッション

「地域医療機関との係わり」～かかりつけ婦人科・薬局はありますか？

パネラー：江夏 亜希子先生、上田原レディース&マタニティークリニック 宮下 尚夫院長、
上田病院 森 浩二院長(73期)、小諸市ほんまち薬局 樽澤 清子薬剤師(73期)

コーディネーター：北沢 真澄(73期)